

平成29年度 「事業評価・提案会」

評価結果及び提案会を踏まえた改善策・今後の方向性について

事業名	① ホームページ運営事業	担当部署	総務部・総務課・法制広報担当
-----	--------------	------	----------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p><b>【評価○】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の利便性向上、市外の方に都留市を知ってもらうには有効なツールである。</li> <li>・告知は多く、市民の便利帳として活用されている。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的にトップ画面の情報量が多すぎて分かりにくく、トップ画面から必要とする画面までのアクセスが良くない。</li> <li>・観光情報は「都留市観光協会」のバーナーからアクセスし、写真のページまで数ページ経由しなければならず面倒である。また、観光地の写真が少なかったり、地図が簡略化されており、イメージが掴みにくい。</li> <li>・新しさ、見てみたい感じが少ない。</li> <li>・ホームページ閲覧者の目的の分析ができているか。市としてどのような情報の発信を行いたいのか明確になっているか。</li> <li>・市民向けの情報が多く、例えば市外から来た学生や観光客が、都留がどんなことが行っているかはわかりにくい。</li> <li>・スマートフォンに対応されていないため、スマートフォンをよく利用する主婦や学生はホームページの閲覧がしにくい。また、慣れている学生でも使いにくいため、高齢者等は更に使いにくいのではないだろうか。</li> </ul>	<p><b>■【HP内容について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップ画面をシンプルに作成、ターゲットを明確にする。アイコン例として「市民の皆様へ」「観光情報」「移住型CCRC」「つるに恋！」「市長挨拶」「サイト内検索」程度にしては。</li> <li>・トップ画面は主要な観光写真を美しく、大きく表示し、説明の写真は下部等に表示してはどうか。</li> <li>・観光情報については、観光地全体が把握できるよう写真と地図をリンクさせ、可能であればストーリービュー機能を活用してはどうか。</li> <li>・観光情報の発信はHPだけでなく、SNS等をもっと有効的に使うべき。コストも安く、写真や動画の強みも活かせる。</li> <li>・サイト内をつるビーが案内し、アンケートやクイズ回答者へ「つるビーグッズ」を贈呈してはどうか。</li> <li>・タブレットやスマートフォンから見やすいようにすることは重要であり、字だけではなくイラストや写真を多数活用する等、見ていてより楽しく、より興味を惹かれるようなホームページにした方がよい。</li> <li>・市民向けと観光向けで分けた方が見やすく、検索しやすい。また検索バーがあると知りたい情報により早く辿り着きやすく、利用しやすいのではないだろうか。</li> <li>・スマートフォンへの対応だけでなく、海外の方でも都留のことを分かってもらえるよう、外国語に対応させてはどうか。</li> <li>・大学を志望する高校生や保護者は都留市の良いところを知りたいと思うので、オススメの場所やよく行くところがわかるリンク等を、大学と連携して作成するとよい。</li> <li>・戦略に沿った活用の仕方が必要だと思われる。市長からの発信や、市が何をしたいのかということのイメージを発信することが重要ではないだろうか。</li> </ul> <p><b>■【HP運営について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成マニュアル等をつくり、各ページの統一性を図る。特に市民向けの事業や行政サービスの紹介ページはバラバラではなく、統一されていると良い。</li> <li>・ハッキングや不正アクセス等へのセキュリティ対策を充実させることが望ましい。</li> </ul>	<p>コーディネーターによる意見のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外からの目線を踏まえた観光情報(写真・イメージ)や、高齢者や外国人といった多種多様な方々が使いやすいようなツール、スマートフォンへの対応や、多言語化、読み上げ機能等を取り入れた、幅広い対応が必要であるとの意見が多かった。</li> </ul>

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	総務 部	総務 課	担当名	法制広報担当	事業No.	①
------	------	------	-----	--------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）	
プロジェクト名	
施策名	

都留市総合戦略（※該当する場合）	
戦略名	
施策名	

事業名	<b>ホームページ運営事業</b>
目的	市の行政情報やイベントの発信などを通じて、本市の魅力を情報発信するためのツールとして管理・運営をおこなっていく
内容	現行ホームページシステム導入：平成19年度 平成24年度にトップページリニューアル実施 ・各課で作成したページを承認公開 ・市ホームページ全体の管理・運営
【Do】事業の実績取組状況	11/10現在 登録総ページ数 1,761ページ (公開ページ数 1,378ページ、非公開 383ページ)

【Check】課題	タブレット端末からの情報取得が主流となる中、平成19年に導入した現行のホームページがスマートフォンやタブレットなどに対応した表示システムではないため、システム全体の改修を含めた全体的な見直しが必要である。 また、トップページから閲覧者が必要な情報取得に迷ってしまっている傾向があるため、検索しやすい動線確保が必要である。 ホームページシステム構築に伴い、解析ツールなどを使った検証やアンケートなどを継続的に実施して 閲覧しやすいページ作りを目指さなければならない。 現行システムの契約期限に合わせ、新たなホームページへのリニューアルを実施するため、平成30年度の予算化を目指す。	
【Check】平成28年度自己評価	必要性	A 必要性が高い
	有効性	C 有効性について検討が必要である
	効率性	C 効率性について検討が必要である
	KPI達成率	B 概ね目標を達成している(達成率70%~100%未満)
	平成28年度には、更新されていないページの整理をおこない、更新すべきページと削除可能なページの照会を各課に依頼し、500ページ程の更新・削除の作業をおこなった。まだ2年以上更新のないページ等があるため、ページの更新等を促していく必要がある。	

事業費(円)	平成28年度決算額		(平成29年度 予算額)		(平成29年度 決算見込額)
	777,600		777,600		777,600
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				15	777,585
【Do】・【Plan】平成28年度事業費内訳(具体的に)	■CMS WEBシステム使用料 ホームページシステム使用料(64,800円/月×12カ月)				

◎外部評価人評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧者のニーズ把握による発信情報の選定</li> <li>・スマートフォンへの対応</li> <li>・字ばかりではなく、写真やイラストの活用</li> <li>・高齢者にも見やすいページづくり</li> <li>・市民向けと観光向けで分ける</li> <li>・検索バーの採用</li> <li>・国外の方向けに、多言語への対応</li> <li>・観光ページの写真情報の充実、地図情報の詳細化</li> <li>・つるビーの有効活用</li> </ul>

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】

①KPI名称	ホームページアクセス数				
H30年度目標値	2,000,000件				
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-	1,153,713	1,238,062	-	目標H30 2,000,000件
達成率	-	80%	86%	-	
②KPI名称					
H30年度目標値					
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	
③KPI名称					
H30年度目標値					
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	

【Action】改善策 今後の方向性	市内の方が閲覧しやすいホームページの作成を目指すとともに観光情報(写真・イメージ)や、高齢者や外国人といった多種多様な方々が使いやすいような機能等を取り入れ、ホームページのリニューアルをおこなっていく。  (具体的内容) ・閲覧する方が探しやすいようなホームページ(トップページ)の作成及びサイト構造の構築及びページ作成職員の育成 ・観光情報の検索機能の向上(地図や写真を活用した見やすいページ作成) ・スマートフォンやタブレットといった多様な機器への対応 ・外国人に対応した多言語機能の導入 ・高齢者及び障がい者に配慮した機能の導入及びページ作成職員の育成
--------------------	--

事業名	② 下水道事業	担当部署	産業建設部・上下水道課・下水道管理担当
-----	---------	------	---------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p><b>【評価○】</b>  ・きれいな水源の水質を維持するにあたり、とても重要かつ大切な事業である。</p>	<p>・インパクトのあるPR映像を作成し、普及率向上への啓発活動を強化してはどうか。また、今回の説明で使われていたパワーポイントの資料もとても分かりやすかったので活用すべきである。</p> <p>・理解をいただけない地域等には、行政からでなく、水質汚染等、環境問題として「水を守る会」等の市民団体等を通して啓発をしていくのはどうか。</p> <p>・行政側からだけでなく、個人個人である市民からの啓発は必要であり、自分たちの川であることを意識するべきである。浄化槽や下水道に関する補助金についても、その意味を知るべき。</p> <p>・モデル地を決めて、地区ぐるみで汚水を少なくする取り組みを行う、子供のポスター等を作成させる等の、多角的なアプローチを試みてはどうか。</p> <p>・子どもたちが川で遊べるような場所、公園等を作り、水の大切さを市民に理解させるのはどうか。</p> <p>・受益者負担金や下水道使用料、排水設備設置工事費補助金を見直しを行ってみてはどうか。</p> <p>・市としてきれいな水のイメージを売り込んでいるので、担当だけでなく、市全体として改善に取り組む必要があり、全世代的に知識を共有するべき。</p>	<p>・まず、汚水処理の現状に驚いたということ。</p> <p>・事業は水質を保つ上で非常に重要であり、またそれを啓発していくことは十分に理解できるが、金銭的な問題も発生してくる。どこまでそこに予算をつぎ込むのか。</p> <p>・この問題を、この場だけで終わってしまわないようにすべきであり、問題があることを市民に知ってもらい、という意味合いの啓発が、市民の環境に関する意識を変えるために必要である。</p>
<p><b>【課題】</b>  ・「平成の名水100選」にも選ばれる「名水のまち都留」ではあるが、公共用水域の水質はあまりきれいとはいえず、下水道接続に係る普及率は低いといえる。</p> <p>・川に下水を流すことに抵抗感のない、昔からの川に対する市民の価値観が、事業の進行を阻害しているように思える。</p> <p>・浄化槽・下水道の仕組みを知らない人も多く、下水道に接続しても自分が得をするわけではない、と捉える人もいる。</p>		

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	産業建設部	上下水道課	課	担当名	下水道管理担当	事業No.	②
------	-------	-------	---	-----	---------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）	
プロジェクト名	
施策名	

都留市総合戦略（※該当する場合）	
戦略名	
施策名	

事業名	下水道事業
目的	下水道は汚水の排除・処理、公共用水域の水質保全などの機能を有しており、衛生的で快適な生活を営む上で欠かすことのできない施設である。 生活様式の都市化、多様化による生活排水の流入などにより、公共用水域の水質汚染が進んでおり、下水道の早急な整備が必要とされている。
内容	都留市では、平成3年度に基本計画を策定し、平成5年度より計画に基づき事業着手し、平成16年度に供用開始を行った。平成21年度に見直しを行った計画に基づき、現在に至るまで、下水道管渠の整備を実施している。
必要に応じて説明資料・写真を添付すること	
【Do】事業の実績取組状況	平成28年度末時点で、全体計画822.0haに対し、230.95ha（28.1%）整備済み。（事業計画区域は316.6ha） 普及率25.8%、水洗化率54.6%となっている。接続が進まない理由として、宅内排水接続費用が発生するため、また、下水道使用料が高いからという声が出ている。

【Check】課題	平成28年度までの投資額は 公共下水道建設費 90億円 財源：国庫補助金29億円、借入49億円、受益者負担金4億円 流域下水道建設費負担金 55億円 財源：借入48億円 面整備率は28.1%（230.95ha/822ha）、普及率25.8%となっている。 現在の起債残高は公共36億円、流域21億円となっている。 これまでの投資に対し、普及率が低く、全体計画に基づいた整備を行うと、完成まで膨大な予算と時間が必要となるのが現状である。 下水道全体計画について、県の相模川流域総合整備計画区の見直しに伴い、平成30年度より見直し作業を行う予定である。 また、下水道に対する理解不足から、早期に下水道に接続する家庭が少ないのが課題となっている。
【Check】平成28年度自己評価	必要性 A 必要性が高い
	有効性 B 有効性が認められる
	効率性 C 効率性について検討が必要である
	KPI達成率 D 数値設定が曖昧である又は把握していない
	環境保全対策としては、必要性が高い事業である。ただ、接続率が低いため、有効性が高いとは言えない。都留市の地形の特徴として、岩盤が比較的浅い位置にあるため、掘削工事費用が高み、施工期間も長期となること、また、桂川流域幹線の市街地に加え山間部に集落が点在していることから、下水道管渠整備の効率性については検討が必要と考えられる。 下水道事業計画区域外については、環境保全対策として合併処理浄化槽設置費を助成している。

事業費(円)	平成28年度決算額	(平成29年度 予算額)	(平成29年度 決算見込額)		
	301,324,124	216,262,000			
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	110,862,220		145,000,000	33,256,480	12,205,424
【Do】・【Plan】平成28年度事業費内訳（具体的に）	主な事業費支出 人件費：5,671,885円 委託料：20,088,000円（繰越含む） 工事請負費：245,665,880円（繰越含む） 補償料[主に水道移設補償]20,676,600円（繰越含む）				

◎外部評価人評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照  ・水源維持のためには、とても重要な事業 ・水質汚染等、環境問題としての市民理解の向上 ・映像媒体等を活用した啓発活動 ・行政側からだけでなく、市民側からの啓発の必要性 ・水の大切さを理解するための、川で遊べる公園等の場所づくり ・費用に対する効果の検討、計画や補助の見直し
--------------	---

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】

①KPI名称	都留市下水道全体計画				
H30年度目標値	整備済み面積				
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-	230.95ha	235.84ha	241ha	
達成率	-	28%	29%	29%	
②KPI名称	第2次都留市環境基本計画				
H30年度目標値	汚水処理人口率				
	現況値	H27	H29見込	H30	備考
実績	-	33		-	目標値H38 51.7%
達成率	-			-	合併浄化槽含む
③KPI名称					
H30年度目標値					
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	

【Action】改善策今後の方向性	・公共下水道事業については、今後も都留市公共下水道全体計画に基づいた整備を実施していく。しかし、公共下水道の整備は、これからも膨大な時間と費用がかかるため、財政的且つ効率的な面から全体計画面積の見直しを検討する必要がある。 ・下水道は公共用水域の保全に対し、非常に効果がある事業であるため、供用開始地域に対しては、接続率の向上に対し、引き続き取り組んでいく。ただ、下水道未整備地域に関しては、環境保全の観点から早期に改善が必要なため、関係部署に対し現状を伝えるなどの連携を図る。（具体的内容） ・今年度、上位計画である県の相模川流域総合整備計画の見直しがあり、さらに都留市公共下水道全体計画が平成32年度までとなっているため、平成30年度より見直し作業を行う。経済状況や財政事情を踏まえ、効率的な観点から、計画区域の縮小を視野に、現行の合併浄化槽設置補助制度の見直しや市町村設置型合併浄化槽事業などについて、調査・研究を進める必要がある。 ・さらに、公共用水域の保全のため、既整備区域・整備予定区域の住民に対しては、今回使用した参考資料等を活用し説明することで、視覚的な面から現状を伝えるなど、下水道接続に対する意識を高める方策を検討し、接続率の向上を図る。 ・また、未整備地域の住民に対しては、公共下水道は整備に非常に時間がかかることから、下水道では早急に有益な効果を出すことができない。そのため単独浄化槽使用家屋に対しては早期に合併浄化槽への切り替えを促進する必要がある。補助金制度の見直しも含め、関係部署に情報提供を行い、環境保全対策に寄与し、人と自然がいつまでも輝くまちづくりを実現する。
-------------------	--

事業名	③ <b>がん検診事業</b>	担当部署	保健福祉部・健康子育て課・健康づくり担当
-----	-----------------	------	----------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p><b>【評価○】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康維持・増進策として重要な事業であり、受診率向上は強力的に推進すべき。</li> <li>・検診に託児がついたことで、とても利用しやすいとの話を知人からきいている。また、つるビーの検診している様子のfacebookはとても面白かった。</li> <li>・クーポンを配布したり、意識調査を行ったりと、受診率向上のために尽力している。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん・子宮がん検診においては県平均を下回っており、また全体的な受診率も低位である。</li> <li>・対象年齢に達していない若い世代で、検診を受けたいと切実に思っている人もいる。</li> <li>・健康には関心があっても、がんについて自分事と考えていないようなケースもある。PRとして、どうしても年配の方向けのメッセージに聞こえがちである。</li> <li>・予約多数の場合、市外まで実費でいかなければならないのは、学生には負担となってしまう。</li> </ul>	<p><b>■事業の普及、受診率向上対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR映像の作成や、がんサバイバー参加のイベント等を開催し、普及率向上への啓蒙活動を強化するのはどうか。</li> <li>・亡くなった方の検診履歴の確認や、がんサバイバーへのインタビューを行い、がん検診の対象者の危機感を煽ることが重要である。</li> <li>・全世代に向けて「健康で過ごすなら都留市」のようなキャッチフレーズやメッセージの発信を行い、肥満や健康診断等を窓口に、がん検診につなげていくのはどうか。</li> <li>・大手企業との連携等で、市民の関心度を上げてはみてはどうか。また、未病・予防医療というキーワードはトレンドなので、活用すべきである。</li> </ul> <p><b>■受診制度、体制について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、国の指針に基づき、年齢制限を定めているとのことだが、制限を緩和し、受診者数向上させてはどうか。受診率は挙がらないかもしれないが、健康への意識は上がるだろう。</li> <li>・がん検診から、がんが見つかった患者向けの優遇制度（市立病院・県立病院・がんセンター等との連携による優先治療）を検討してはどうか。</li> <li>・職場や学校の健康診断に合わせて検診が受けられるようになれば、多くの人を受診を希望するのでは。</li> </ul>	<p>コーディネーターによる意見のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントやクーポンなどである程度受診率は増えるが、それに反応しない層もあり、今後も工夫が求められる。</li> <li>・がん検診については、エビデンスに基づいて実施しているため、年齢等制限あり、対象者も狭まってしまうが、全世代的に健康を広げていくべきであるから、意識啓発という意味も含め、間口は広くしていくべきである。</li> </ul>

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	福祉保健部	健康子育て課	担当名	健康づくり担当	事業No.	③
------	-------	--------	-----	---------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）		
プロジェクト名	プロジェクトI	生涯活躍のまち(CCRC)事業の推進
施策名	施策5	ライフステージに応じた健康づくり

都留市総合戦略（※該当する場合）	
戦略名	
施策名	

事業名	<b>がん検診事業</b>
目的	がん検診を受診することにより、早期発見・早期治療にむすびつけ、がんによる死亡率を低下させる。
内容	集団の健康診査として、いきいきプラザ都留にて特定健診と同時に胃、肺、肝がん、大腸がん、前立腺がん検診、乳がん検診、を6月に19日間、10月に5日間実施。 乳がん検診は都留市立病院において、6月～1月に33日間実施。 子宮がん検診において、年間をとおり県内指定医療機関にて実施。また、いきいきプラザ都留にて、バス検診(レディース検診乳がん検診、骨粗鬆症予防検診含む)の実施。 国民保険加入者における人間ドックの実施。
【Do】事業の実績取組状況	1. 検診受診率について 実施期間の延長および土日の開催。 未受診者については、個別受診勧奨、再勧奨通知の発送。 乳がん検診については、平成25年度よりバス検診の導入。 子宮がん検診については平成27年度よりバス検診の導入。 受診率については別添資料のとおり。 2. 精密検査受診率について 個別通知、再勧奨通知や電話かけによる受診勧奨の実施。

【Check】課題	1. 検診受診率について 全体的にすべてのがん検診では、国が掲げている受診率と比較すると低い。特に、女性特有のがん(子宮がん・乳がん検診)の受診率は、若干ののびはあるものの県平均より低い。 若年層の受診率が低い状況である。 2. 精密検査受診率について 全体的にすべてのがん検診では、国が掲げている精密検査受診率と比較すると低い。 大腸がん検診、肝がん検診、子宮がん検診において低い受診率となっている。	
【Check】平成28年度自己評価	必要性	A 必要性が高い
	有効性	A 有効性が高い
	効率性	B 効率性が認められる
	KPI達成率	C あまり目標を達成していない(達成率70%未満)
	1. 普及啓発の強化 健康診査に関心のない人たちの新規掘り起しのために、インセンティブを活用した事業の充実(健康ポイント事業の拡充)、子どもたちからのがん教育等の実施。 2. 受診しやすい環境整備 土日の開催および託児の設置等を行う。 3. 精密検査受診率を向上させるために検査機関、医療機関との連携を強化する。	

事業費(円)	平成28年度決算額		(平成29年度 予算額)		(平成29年度 決算見込額)
	34,128,176		36,528,000		36,528,000
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	410,000				33,718,176

◎外部評価人評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照 ・検診時の託児サービスのPR ・年齢制限の緩和、もしくは対象外の方への対応の拡充 ・高齢層だけでなく、幅広い世代へ健康寿命延伸のPR ・学生の健康診断時に合わせた受診体制の確立
--------------	---

【Do】・【Plan】平成28年度事業費内訳(具体的に)	11. 需用費・・・がん検診通知用封筒 リーフレット等 120,204円 12. 役務費・・・通知送料 261,123円 13. 委託料・・・各種がん検診費 33,742,449円 14. 負担金・・・償還払い クーポン還付金 4,400円
------------------------------	---

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】					
①KPI名称	各種がん検診受診率の平均				
H30年度目標値	受診率50%を目指す。				
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-	31.9	30.5	-	国の目標値50%
達成率	-	64%	61%	-	
②KPI名称	がん精密検査受診率				
H30年度目標値	受診率72%を目指す。				
	現況値	H27	H28見込	H30	備考
実績	-	67.3%	66%	-	平成38年度に受診率100%を目指す。
達成率	-	67%	66%	-	
③KPI名称					
H30年度目標値					
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	

【Action】改善策今後の方向性	■事業の普及、受診率向上対策 ・がん検診の必要性について、あらゆる事業機会やSNS等による普及啓発の強化をはかる。 ・従来行っている、個別受診勧奨・再勧奨を子宮がん検診、乳がん検診のみならず、他のがん検診(胃、大腸、肺)にも拡大することにより、健康意識の向上をはかる。 ■受診制度、体制について ・子宮がん検診においては、受診者のニーズに合わせた体制を整え、情報を提供していく。 ・検診受診時の託児サービスについて周知を強化することにより、子育て世代である若年層に対し受けやすい体制づくりをしていく。 ・乳がん検診における対象年齢拡大については、年代別の発生状況の動向や国の指針をもとに、検診受診の利益、不利益をふまえて、適切な検診体制を整える(具体的内容) ・乳幼児健康診査等に来所する保護者および、市の事業へ参加する方へ、がん検診の正しい知識の普及をはかり受診につなげていく。 ・市のイベント等にて、正しい知識の普及をはかる。 ・若年層へは、興味を持てるキャッチフレーズ等を用いる中で、正しい知識と検診の必要性についての周知を拡充していく。 ・乳がん検診においては、セルフチェックの啓発を強化し、自身の体に関心をもてるよう促す。 ・勧奨物の内容を見直し通知等による勧奨・再勧奨の実施。 ・CATVや広報等による情報発信を、体験者の声および他の企業等と連携して行う。 ・ポスターの掲示については、従来行っている市内の企業のみならず、他企業等、地域へ連携を拡大し、市民の関心度を上げる。 ・受診者においては、がんの正しい知識と検診の必要性の周知を強化し、継続受診につなげる。 ・受診者数・受診希望者の状況を踏まえ、適切な検診日数等を考慮し、受けやすい体制を整備する。 ・未受診者においては意向を確認し、受けやすい体制を整備する。
-------------------	--

事業名	④ 教育センター事業	担当部署	教育委員会・学校教育課・学校教育担当
-----	------------	------	--------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p><b>【評価○】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の学力定着・向上、教員の資質向上、問題を持つ子供への支援等のためには重要かつ必要な事業。</li> <li>・演劇、音楽鑑賞、親子の読書感文、理科自由研究発表会、書初め大会等、情操教育の面からも有効性は高い。</li> <li>・多くの取り組みが多数用意されているのは素晴らしい。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り沢山のカリキュラム、活発な委員会活動や研修活動等を鑑みると、現場の教員の負担は大きい。</li> <li>・研修内容は教員側のニーズと合致しているか。また、教員の意欲向上につながっているか。</li> <li>・効果の検証・把握がなされ、事業計画に反映されているか。また、毎年の事業内容が形骸化していないか。</li> <li>・「教育首都つる」として、事業に対しての発信力が弱いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の教員の意見に基づき、負担感の少ない事業・研修に内容を見直すべき。いじめ・自殺問題、コミュニケーションのスキルアップ、教員のメンタルヘルス等をメインにカリキュラムのスリム化を図ってはどうか。</li> <li>・事業で行っていることはどれも素晴らしいが、より良くしていくためには余裕がないと生まれない。事業を増やすことだけでなく減らすこともとても大切であり、効率的に行えるようにするべきである。</li> <li>・この事業に実際に参加している教員の声をきき、何を学びたいのか、何に困っているか等を確認し、それに合わせた研修内容を考えてみてはどうか。</li> <li>・教員にとっても、子どもにとっても、「やらなきゃいけない」「やらされている」という感覚を減らせるよう、自分でより学びたいことを選べるシステムを導入するのはどうか。</li> <li>・一旦KPIを教員の満足度等に定め、事業の見直しを行ってみてはどうか。</li> <li>・SAT等に参加している学生の意見を取り入れて、新任教員への研修を組み立てるのもよいのではないだろうか。</li> <li>・教員が忙しいことは重々承知であるが、生きにくさを感じている子供たちがいることも現状である。そういった子どもたちが、学校を経由して社会に出ていくためには、教員と地域等の繋がりをより強くしていくことも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当からの現状の課題提示が乏しく、議論がしにくい場面があった。</li> <li>・教員のニーズ調査について、アンケートですべてが決まるわけではないが、そういった地道なものから、どれだけの効果があるのかを考えることは大事である。</li> <li>・一度立ち止まって、事業内容の見直しを図ってみることも重要である。</li> </ul>

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	教育委員会	学校教育課	担当名	学校教育担当	事業No.	④
------	-------	-------	-----	--------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）			都留市総合戦略（※該当する場合）		
プロジェクト名	プロジェクトⅢ	「教育首都つる」のさらなる発展	戦略名		
施策名	施策3	魅力ある教育環境の充実	施策名		

事業名	<b>教育研修センター事業</b>
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、都留市における教育の充実と振興を図るために、都留市教育研修センターを設置する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係職員の研修に関すること。 ・教育相談に関すること。</li> <li>・教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。</li> <li>・教育に関する情報の収集、整理、保管及び活用に関すること。</li> <li>・児童、生徒の各種発表会及び作品展等の運営に関すること。</li> <li>・その他教育の充実と振興を図るための事業</li> </ul>
【Do】事業の実績取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親善音楽会の開催</li> <li>・演劇・音楽鑑賞会の開催</li> <li>・小学校3・4年生社会科見学の実施</li> <li>・発達相談、学習相談等の相談件数746件など</li> </ul>

【Check】課題	教育研修センター内には、「社会科副読本・資料作成委員会」、「情報教育研究委員会」、「環境教育研究委員会」、「学力向上検討委員会」、今年度はさらに、新学習指導要領に対応するため、「英語研究会」を立ち上げたが、教員の多忙化が言われる中で、どうしても教員に負担をかけてしまう。
【Check】平成28年度自己評価	必要性 A 必要性が高い
	有効性 A 有効性が高い
	効率性 B 効率性が認められる
	KPI達成率 B 概ね目標を達成している(達成率70%~100%未満)
	本市児童生徒の学力の定着、向上、また、教員の資質向上のための研修会や、問題を持つ児童生徒への支援など、本事業の必要性及び有効性は高いと思われる。

事業費(円)	平成28年度決算額		(平成29年度 予算額)		(平成29年度 決算見込額)
	4,040,054		7,074,000		7,074,000
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					4,040,054
【Do】・【Plan】平成28年度事業費内訳(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会及び講習会講師謝礼 42,300円</li> <li>・事務用消耗品費 85,178円</li> <li>・小学校演劇鑑賞会委託料 1,100,000円</li> <li>・社会科見学等バス借り上げ料 2,629,686円</li> <li>・教員県外研修補助金 182,890円</li> <li>・合計 4,040,054円</li> </ul>				

◎外部評価人評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場教員の負担の少ない研修・事業への改善</li> <li>・教員・子供のニーズの把握</li> <li>・より効果的かつ効率的なような事業の取捨選択</li> <li>・教員養成の学生の意見を取り入れた研修の導入</li> <li>・問題を抱える子供が地域社会に溶け込めるよう、地域と教員とが連携できるような仕組み</li> </ul>

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】

①KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-				
達成率	-			-	
②KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-				
達成率	-			-	
③KPI名称					
H30年度目標値	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-				
達成率	-			-	

【Action】改善策 今後の方向性	<p>教員の長時間勤務の改善が課題となっており、教職員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保することにより、その責務を果たし、事業の質を高めることで子どもの教育環境の充実を目的として、取り組みを進めていく。</p> <p>(具体的内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の研修、各種教育研究に際し、内容等について教員側のニーズに合っているかを意見を聞き、教職員の意欲向上につとめる。</li> <li>・教育という分野では、事業が増えることばかりであるが、定期的に検証をし、効率的な方法を模索し、現場の教員の負担を減らしていく。</li> <li>・教員の満足度をKPIで定め、見直しを進めていく。</li> </ul>
--------------------	---

事業名	⑤ 結婚相談事業	担当部署	市民部・市民課・市民窓口担当
-----	----------	------	----------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p><b>【評価○】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の学力定着・向上、教員の資質向上、問題を持つ子供への支援等のためには重要かつ必要な事業。</li> <li>・結婚を前提とした相談事業を行政が担うのは旧態然としたイメージがあったが、実績等からしてニーズも高いと考えられる。</li> <li>・ふれあいパーティの参加者も増加しており、今後も継続して行ってほしい事業である。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代のライフスタイルや結婚・出産に対する考え方の変化、多様化等から鑑みると、結婚を前提とした相談事業は、時代に合わない側面があり、取り組みや目的を考え直す必要があるとも考えられる。</li> <li>・民間の婚活業者のサービスが充実してきている状況下、本事業のメリットや強みは何か。差別化が図られているか。</li> <li>・都留市の規模では、何度も参加することによって顔見知りになったり、知り合いに会ったりしてしまうことに抵抗を感じる人も多い。</li> <li>・結婚、縁結びというタイトルに行きづらさを感じる人もいる。</li> </ul>	<p><b>■事業目標の明確化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業の今後の方向性・規模をどのようにしていきたいのか明確にして取り組む必要があるだろう。</li> </ul> <p><b>■ふれあいパーティについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚色を前面に出すと引く者もいるので、カジュアルなパーティにするのも一案である。職員は大変だろうが、需要があるのであれば、パーティの回数も増やすべきだろう。</li> <li>・参加費については、結婚に対して意識の高い方であれば、金額が高くても参加するので、思い切って挙げてみるのも手段である。参加費が安いと、ただご飯を食べに来ましたという意識が低い方が集まってしまう場合もある。</li> <li>・登山や写真、料理等々、趣味の会う人を集めるようなプログラムを多様化させて開催するのも良い。</li> <li>・他の市町村について、婚活イベントを年に1回ほど行うことが多いとあったが、これを基準にする必要はなく、需要に応じて行うべきだろう。</li> </ul> <p><b>■新たな試みとしての提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録されている方の年齢が高くなっているということもあるので、CRC事業も絡め、アクティブシニア層への婚活サポート等を検討してはどうかだろう。「終の棲家でのパートナーを」等の触れ込みで、都市部の移住や定住者向けのイベント・キャンペーンを行うのもよい。また、成婚した場合には市内空き家やサービス付き高齢者住宅への優先入居などのインセンティブを与えるのはどうか。</li> <li>・アクティブシニアについては心の豊かさを求めてくる方が多いので、都留にとっても価値のある世代だと考えられる。市の他の事業とも絡めることが重要だろう。</li> <li>・民間の相談会を活用する等、地域にある資源を生かすことも必要だろう。</li> </ul>	<p>・市の事業としてどうだろうかとの意見もあったが、実績的にとても評価のできる事業である。</p> <p>・相談事業としてのニーズがあり、今後シニア層への婚活のサポート等の実施も検討すべきである。</p> <p>・結婚システムを組み込んだ社会が、少子高齢化に対して効果的であるかどうかは関連が見られないこともあるので、多様性という部分は考えていく必要がある。</p> <p>・人間的なつながりを作るという部分では、とても面白い事業である。</p>

平成29年度「事業評価・提案会」評価シート

担当部署	市民 部	市民 課	担当名	市民窓口担当	事業No.	⑤
------	------	------	-----	--------	-------	---

リーディング・プロジェクト（※該当する場合）		
プロジェクト名	プロジェクトIV	心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり
施策名	施策1	個々の果たす役割の明確化と環境の整備

都留市総合戦略（※該当する場合）		
戦略名 施策名	共通戦略	-
	戦略4	若く活気あるまちの創生
	施策2	出会い・連携の場づくり

事業名	<b>結婚相談事業の充実</b>
目的	・市結婚相談員協力のもと、結婚を希望する独身者の相談に応じ、その希望を尊重しつつ紹介・引き合わせ等を行い、また、出会う機会の少ない男女の交流の場の提供など、結婚に向けての支援を図り、市の少子化対策、人口増加につなげる。
内容 <small>必要に応じて説明資料 ・写真を添付すること</small>	結婚相談所：昭和61年開設 相談員：市長委嘱、定数 8名、任期 2年 活動状況：毎週月曜日10時～12時にいきいきプラザつる相談室にて結婚相談所開設 ：平成23年度から、年に1度ふれあいパーティーを実施。出会いの場を提供。 ：県内の他の相談所と情報交換等を行い、地域を超えた取り組みを行う。 ：県の結婚相談窓口に「やまなし縁結びサポーター」として双方の情報提供。
【Do】 事業の実績 取組状況	平成29年10月末現在データ ○登録者数 男性 59名、女性 8名、合計 67名 ○通算登録者数(S61年～) 男性 445名、女性 109名、合計554名 ○通算成婚者数(S61年～) 127組 ○ふれあいパーティー(H23～) 6回実施 成立カップル数 19組 内成婚 4組

【Check】 課題	・結婚相談登録数(10月末現在)は男性59名、女性8名の合計67名で男女比に差があるため、今後女性の登録をどう増やしていくかが課題。 ・近年登録者の年齢も高く、パートナーに求める条件も多様化し、成婚率が低い。 ・ふれあいパーティーの需要も年1回ではなく、複数回開いてほしいとの声があるが、現担当において複数回の開催は他業務との兼ね合いもあり困難である。								
	【Check】 平成28年度 自己評価	<table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>B 必要性が認められる</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>B 有効性が認められる</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>B 効率性が認められる</td> </tr> <tr> <td>KPI達成率</td> <td>B 概ね目標を達成している(達成率70%～100%未満)</td> </tr> </table> <p>・相談所へ登録していただくことで相談員による引き合わせ、また、「ふれあいパーティー」の実施は出会う機会のない男女にとって良い機会となっている。 ・ふれあいパーティーは、内容を工夫することで参加者の増加につながっている。 ・他市町村や県と連携することで相談員の資質の向上を図っている。</p>	必要性	B 必要性が認められる	有効性	B 有効性が認められる	効率性	B 効率性が認められる	KPI達成率
必要性	B 必要性が認められる								
有効性	B 有効性が認められる								
効率性	B 効率性が認められる								
KPI達成率	B 概ね目標を達成している(達成率70%～100%未満)								

事業費(円)	平成28年度決算額		(平成29年度 予算額)		(平成29年度 決算見込額)
	613,159		1,192,000		1,192,000
H28財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					613,159
【Do】・【Plan】 平成28年度 事業費内訳 (具体的に)	報償費	355,000円			
	需用費	31,101円			
	使用料及び賃借料	151,438円			
	役務費	55,620円			
	負担金補助金及び交付金	20,000円	合計613,159円		
	(歳入 ふれあいパーティー参加費 77,000円)				

◎外部評価人 評価・意見等	詳細の評価・意見・提案は、別紙「評価・提案内容」参照
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成婚率から、実績の高い事業</li> <li>・パーティー参加者が増加しているので継続すべき</li> <li>・若い世代の価値観の多様化への対応</li> <li>・都留市規模だと、顔見知りになってしまう抵抗感</li> <li>・アクティブシニア層への婚活サポートの提供</li> <li>・結婚意識と価格設定の関連性の検討</li> <li>・街や自然、地域資源を活用した街コン等の開催</li> <li>・馴染みやすい事業名・イベント名の模索</li> </ul>

■KPI(重要業績評価指標) 【Plan】⇒【Do】

①KPI名称	相談員による引き合わせ・お見合い件数				
H30年度目標値	100				
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-	93	96	-	
達成率	-	93%	96%	-	
②KPI名称	ふれあいパーティーのカップル成立数				
H30年度目標値	6				
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-	2	4	-	
達成率	-	29%	66%	-	
③KPI名称					
H30年度目標値					
	現況値	H28	H29見込	H30	備考
実績	-			-	
達成率	-			-	

【Action】 改善策 今後の方向性	運営主体となる結婚相談員との協議のもと、登録者の高齢化や個人の価値観の多様化などによる相談者のニーズに合わせた相談体制の充実を図るとともに、魅力ある出会いの場の提供など、更なる事業展開につなげるため、関係各所との協議・連携を図りながら事業内容を検討していく。
	<p>(具体的内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談体制の充実を図るため、県・地域の研修会や交流会に積極的に参加し情報収集を行い、相談者のニーズに対応した相談の環境整備に努める。</li> <li>・ふれあいパーティーについて、開催回数や参加対象者の募集年齢等の事業内容の見直しを行い、より充実したイベントとしていく。</li> <li>・結婚相談員連絡協議会や市内外事業者等との情報交換により事業の連携を図り、地域を超えた出会いの場の創出など広域的な事業展開を検討する。</li> </ul>